

RCIJ シラバス

- Syllabus2021 -



認定RCアドバイザー

改定：2021.06.10

● 講座の目的と到達目標

RCIJ ではリスクコミュニケーションを、「有事の際に内外のステークホルダーと、適切なコミュニケーションを図ること。これを迅速に実現するため、平時より準備を進めること。」と定義しています。

認定講座の目的（ねらい）は平時/有事それぞれにおいて、リスクの可視化と対策を軸に、各専門領域のセッションや人材とコミュニケーションをはかり、広い視野で会社や組織の《危機に対する万全の状態》を実現・維持する人材を育成することです。

● 講座の種類と特徴

基本的な要素を抑えることを目的とした、未経験者でも受講可能な「RC 技能認定第 1 種」と、2 年以上の実務経験を踏まえて、外部に有償でアドバイスできる知識を習得できる「認定 RC アドバイザー」、5 年以上の実務経験を踏まえて、RCIJ の資格認定のプログラムにて、講師を務めることが可能なレベルの知識及び実践を習得できる「認定 RC エキスパート」の 3 つの階層による認定資格講座になっています。

● 授業の方法（講義・演習）

全てオンラインによる講座として実施します。ファシリテーターと共に受講生と双方向のやりとりをしながら進行します。質疑応答はファシリテーターが適時リードしながら取り行います。

● 課題の提出方法と提出期限

全講座終了後に課題を提出します。（提出期限：2022 年 1 月 31 日）

- RC 技能認定第 1 種 : レポートまたは小テスト（選択問題）
- 認定 RC アドバイザー : レポート、小テスト
- 認定 RC エキスパート : レポート、小テスト、面談試験

● 受講条件：受講するために必要な知識とスキル

- RC 技能認定第 1 種 : 未経験者から受講が可能
- 認定 RC アドバイザー : 「RC 技能認定第 1 種」資格保有者、または 2 年以上の実務経験、RCIJ 理事による審査を通った者
- 認定 RC エキスパート : 「認定 RC アドバイザー」資格保有者、かつ 5 年以上の実務経験、RCIJ 理事による審査を通った者

● 開講日

2021年10月8日(金)～2021年12月24日(金)：全10回（全てオンラインにて開講）

- ※ リアルタイム、アーカイブ視聴共に可。
- ※ 助成金の適用条件で、全ての講義をリアルタイムで受講が必要になる場合があります。
受講のログを提出する必要がある方は、事務局までお問い合わせください。

● 受講料

317,900円(税込)

- ※ 入会金、年会費が別途発生します。
- ※ 認定RCアドバイザーの講座は「RC技能認定第一種」の保持者、または2年以上の実務経験を有する者が対象です。

● 支払方法

クレジットカードによるお支払い

- ※ 法人支払いのみ請求書による銀行振込が可能です。この場合は事務局までご連絡ください。
- ※ 当講座を含む認定講座については会員であることが受講の条件となります。

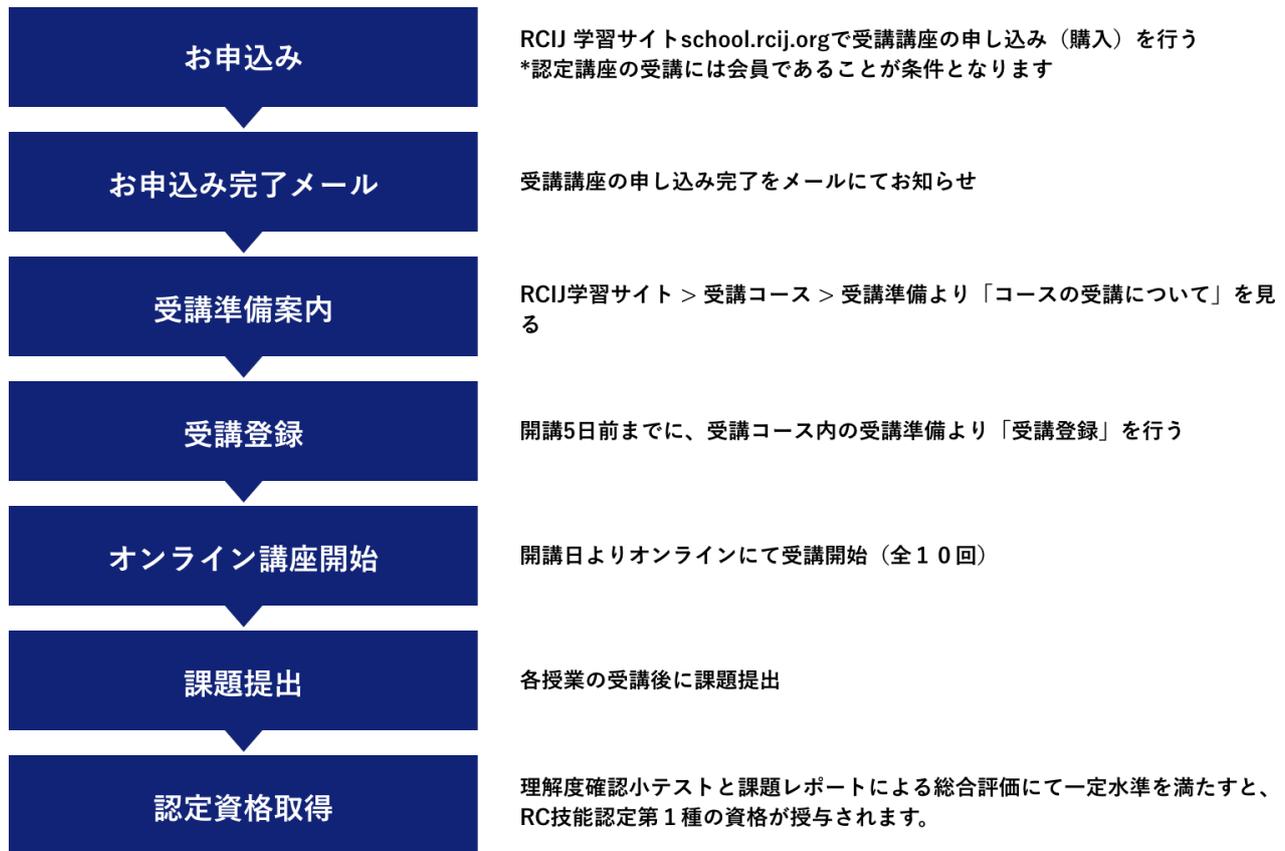
● 受講料と会員会費一覧

区分	受講料(税込)	RCIJ への入会		支払方法
		入会金(非課税)	年会費(非課税)	
個人	¥317,900	¥10,000	¥10,000	クレジットカード決済
学生	¥158,950		¥3,000	クレジットカード決済
法人	¥317,900		中小企業 ¥50,000 大企業 ¥100,000	請求書払い

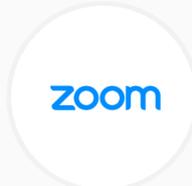
※企業の区分については、「中小企業基本法」で定められている中小企業の条件を参考に大企業の定義をしています

- 認定講座の受講には会員であることが条件となります。
- お支払いが法人であっても、個人会員としてのお申し込みが可能です。
- 法人会員については同一企業で年間5名以上受講される場合や、今後開催予定の技能認定講座以外の講座を社内研修の一環としてのご利用を想定されている場合などにお薦めしております。
- 以下のケースなどにも対応しております。ご希望の場合 contact@rcij.org までお問い合わせください。
- 個人会員として申し込み：会費、受講料ともに法人負担
- 個人会員として申し込み：会費は個人で負担、受講料は法人で負担

● 受講から資格取得までの流れ



● 受講環境について

 <p>パソコンとネット環境 インターネット接続用デバイス (PC、タブレット、スマートフォン)</p>	 <p>ヘッドフォン・マイク デバイスに接続するマイク、カメラ、イヤホンまたはスピーカー</p>	 <p>ソフトウェア PDFの閲覧、Word・Excelの使用 ができること（講義時にWord・Excelのツールなどを配布することがあります）</p>	 <p>ビデオ会議ツール オンライン講座を受講するには、 受講システム（Zoom）のアプリケーションをインストールする必要があります。</p> <p>※ オンライン講座ではアプリケーションをインストールいただいた上での接続をお願いしております。 ※ アプリケーションは最新版をインストールしてください。</p>
--	--	---	---

● 「認定 RC アドバイザー」 講座スケジュール

※開催日時、講座内容、講師は変更される場合がございます。予めご了承ください。

日時	カテゴリー	講座内容	講師
10/8 (金) 15:30-17:00	対外的対応	危機管理広報実務①	白井 邦芳
10/15 (金) 15:30-17:00		危機管理広報実務②	白井 邦芳
10/29 (金) 15:30-17:00		メディア社会論 実践編	木村 恭子
11/5 (金) 15:30-17:00		ネット炎上対策の実践	山口 真一
11/12 (金) 15:30-17:00	経営・マネジメント	BCP 策定の実務	昆 正和
11/19 (金) 15:30-17:00	社内体制	リスクコミュニケーターに必要な心構え	永岡 英則
11/26 (金) 15:30-17:00	経営・マネジメント	BCM の実務と外部への展開	昆 正和
12/10 (金) 15:30-17:00		経営者・リーダーシップとコーポレートガバナンス	細窪 政
12/17 (金) 15:30-17:00	社内体制	法務・法律/コンプライアンス (企業倫理)	小川 義龍
12/24 (金) 15:30-17:00	-	総括	大杉 春子

認定 R C アドバイザー各講義の詳細 (1/10)

講座名	危機管理広報実務①
講師名	白井 邦芳
日時	2021 年 10 月 8 日 (金) 15:30 - 17:00
講師経歴 自己紹介	危機管理コンサルタント、一般財団法人リスクマネジメント協会顧問 ゼウス・コンサルティング（株）代表取締役。早稲田大学教育学部卒業後、A I U 保険会社に入社。2009 年 A C E コンサルティング（株）エグゼクティブ・アドバイザーに就任。危機管理、内部統制、事業継続、企業再生など幅広い分野で活躍。社会情報大学院大学教授。
科目のねらい・到達 目標	RC において重要な、リスクイベント毎の対応事例を学び、有事の際の具体的な危機管理広報実施における実務を習得する。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> ● リスクイベントを起点とする関連開示情報事例 ● 自然災害での事例検証 ● 自然災害での事例検証 ● 事件における事例検証
課題	レポート
評価基準：評価方法	
その他	

認定RCアドバイザー各講義の詳細（2/10）

講座名	危機管理広報実務②
講師名	白井 邦芳
日時	2021年10月15日（金）15:30-17:00
講師経歴 自己紹介	危機管理コンサルタント、一般財団法人リスクマネジメント協会顧問 ゼウス・コンサルティング（株）代表取締役。早稲田大学教育学部卒業後、A I U 保険会社に入社。2009年ACEコンサルティング（株）エグゼクティブ・アドバイザーに就任。危機管理、内部統制、事業継続、企業再生など幅広い分野で活躍。社会情報大学院大学教授。
科目のねらい・到達 目標	RCにおいて重要な、リスクイベント毎の対応事例を学び、有事の際の具体的な危機管理広報実施における実務を習得する。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 失敗事例に共通する課題への取組 ● 企業再生・再発防止の視点からのリスクコミュニケーション ● 企業風土化の失敗事例検証 ● 内部統制欠陥の失敗事例検証
課題	レポート
評価基準：評価方法	
その他	

認定RCアドバイザー各講義の詳細（3/10）

講座名	メディア社会論 実践編
講師名	木村 恭子
日時	2021年10月29日（金）15:30-17:00
講師経歴 自己紹介	日本経済新聞社編集委員 津田塾大学卒。筑波大学大学院カウンセリング修士号取得。読売新聞社、米ブルームバーグニュースなどで記者として首相官邸、外務省、財務省、経団連などを担当。東海大学政治経済学部経済学科教授、上智大学非常勤講師など歴任。2021年度から早稲田大学大学院非常勤講師を兼務
科目のねらい・到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 有事の際の模擬記者会見を体験し、メディア視点でフィードバックを得ることでRCとしての素養・度胸・感性を磨く。 ● 有事に備えるポイントを体験とフィードバックから得ることで平時からやるべきコミュニケーションを学ぶ。
講座概要	<p>【ロールプレイング／模擬記者会見】 （中期経営計画・謝罪会見が2組程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フィードバック&ディスカッション ● 事前にリリースを渡してネタを提供して事前準備しておく （現役日経新聞社のデスククラスにもアドバイザー役として参画いただく予定）
課題	レポート
評価基準：評価方法	レポートによる評価。評価の際は、論理的に書けているか、講義を受けて内容を理解した内容になっているかを重視します。
その他	<p>官房長官会見や企業の社長会見など、ニュースで見聞きする「記者会見」は、英語でpress conference。conferenceの語源は「一緒に運ぶ」なので、記者会見は「報道機関と一緒にコミュニケーションをとること」ともいえます。</p> <p>しかし、実際の会見取材では、必ずしもコミュニケーションが上手にとれているものばかりではありません。むしろうまくいっていないケースのほうが多いかもしれません。</p> <p>どんなケースがうまくいったといえるのか。失敗はどうして起こるのか。模擬記者会見のロールプレイングを通じて、「失敗しないリスクコミュニケーション」のティップスをつかんでいただきたいと思います。</p>

認定 R C アドバイザー各講義の詳細 (4/10)

講座名	ネット炎上対策の実践
講師名	山口 真一
日時	2021年11月5日(金) 15:30-17:00
講師経歴 自己紹介	<p>経済学者/国際大学准教授/東京大学客員連携研究員</p> <p>2015年に慶應義塾大学にて博士号取得。国際大学助教などを経て現職。専門は計量経済学。ネットメディア論、ネットビジネス、プラットフォーム戦略などを主に研究する。他に、IT企業顧問、独立行政法人アドバイザー、政府の広報に関する検討会委員等も務める。</p>
科目のねらい・到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● ネット炎上の予防・対処策について具体的に、実践レベルで理解する。 ● ネット炎上対処について、自分以外の人に対して具体的・論理的に説明できるようになる。
講座概要	<p>※講座前に課題を1つ課すので、事前の提出をお願いします</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 提出されたレポートについてのフィードバック&ディスカッション ● ネット炎上の具体的な予防・対処方法(ケース) ● 実際のネット炎上を想定したシミュレーションとフィードバック&ディスカッション
課題	レポート
評価基準：評価方法	レポートによる評価。評価の際は、論理的に書けているか、独創的・実用的な内容になっているかを重視します。
その他	<p>情報社会のビジネスにおいて、ネット炎上は避けて通れない課題であり、多くの企業が頭を悩ませています。その一方で、炎上対策として確立した方法はほとんどないのが現状であり、適切な炎上対策のノウハウには高いニーズがあります。</p> <p>本講座では、そのようなネット炎上について適切にアドバイスできるようになることを目指します。</p> <p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 『炎上とクチコミの経済学』(朝日新聞出版)

認定 R C アドバイザー各講義の詳細 (5/10)

講座名	BCP 策定の実務
講師名	昆 正和
日時	2021 年 11 月 12 日 (金) 15:30-17:00
講師経歴 自己紹介	事業継続研究家 BCP/BCM 策定・運用アドバイザー 東京都立大学経済学部卒業。ソフトウェア開発会社等で長年にわたって経営企画・マーケティング業務を経験。米国同時多発テロをきっかけに事業継続計画の構築・運用方法やリスク管理のあり方について独自に調査・研究を進めている。
科目のねらい・到達 目標	BCP 策定会議の招集からリスクアセスメント、対策本部要件、緊急対応、BCP の発動、事業継続戦略他、BCP を完成させるまでの重要ポイントを解説（中小企業庁の「事業継続力強化計画認定」の記載要件にも対応）。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> ● リスクアセスメント ● 危機対策本部の設置要件と活動概要 ● 緊急対応プランの策定と BCP 発動の判断 ● 事業継続戦略の組み立て方 ● リスクファイナンス（資金調達）戦略
課題	選択問題（10問）
評価基準：評価方法	基本的な講義内容を理解していること。8問以上合格
その他	本講座は、みなさんが<前任者>から「BCP 策定の実務」を引き継ぐことをイメージして作成したものです。明日から BCP 策定プロジェクトに関わるつもりで臨んでください。

認定 R C アドバイザー各講義の詳細 (6/10)

講座名	リスクコミュニケーターに必要な心構え
講師名	永岡 英則
日時	2021 年 11 月 19 日 (金) 15:30-17:00
講師経歴 自己紹介	株式会社 CARTA HOLDINGS 取締役 CFO 一橋大学商学部卒業。経営戦略コンサルタントを経て (株) アクシブドットコム (現 CARTA HOLDINGS) 創業期に参画。CFO としてサイバーエージェントの資本参加、MBO、株式上場、経営統合等、経営管理/財務戦略全般を担う。(株) EC ナビベンチャーズ (現 VOYAGE VENTURES) を設立し、代表取締役に就任。
科目のねらい・到達 目標	CFO が考える経営のあり方を理解し、「企業価値を最大化させること」=「将来キャッシュフローを最大化させること」を脅かす全ての事象 (リスク) を洗い出す手法を習得し、CFO と連携を図るスキルを習得する。
講座概要	第 1 部：企業における CFO の役割 ・ CFO の仕事とは ・ 企業の将来価値を脅かすリスクとは ～資本政策におけるリスク ～取るべきスタンスとリスクについての考え方 ・ CFO の観点から見たリスクの洗い出し手法について 第 2 部：リスクコミュニケーターと CFO ・ リスクコミュニケーターが平時/有事に CFO ととるべきコミュニケーションとは ・ CFO と連携を取るための平時に必要な準備、情報収集
課題	レポート及び小テスト
評価基準：評価方法	レポートによる評価。評価の際は、論理的に書けているか、講義の内容を理解し実務的な内容になっているかを重視します。
その他	リスクコミュニケーターは多くのステークホルダーと向き合う必要がありますが、資本市場や投資家はその中でも重要な対象になります。企業価値を中長期的に大きくしていくためにも、この分野でリスクコミュニケーターが理解しておくべきことは多いです。基本的な IR の項目から、伴走する CFO の思考/視野まで丁寧に解説します。

認定 R C アドバイザー各講義の詳細 (7/10)

講座名	BCM の実務と外部への展開
講師名	昆 正和
日時	2021 年 11 月 26 日 (金) 15:30 - 17:00
講師経歴 自己紹介	事業継続研究家 BCP/BCM 策定・運用アドバイザー 東京都立大学経済学部卒業。ソフトウェア開発会社等で長年にわたって経営企画・マーケティング業務を経験。米国同時多発テロをきっかけに事業継続計画の構築・運用方法やリスク管理のあり方について独自に調査・研究を進めている
科目のねらい・到達 目標	BCM の幅広い活動の中から、短期的にルーチンワーク化すべき業務と中長期的に必要となる分析手法について説明。BCM による事業継続力の強化、信頼の獲得、レビュー向上の工夫等にも言及。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> ● BCP 文書の更新と点検 ● 訓練の種類/机上演習ツールと実施手順 ● 監査/レビューの手順と評価ツール ● ビジネスインパクト分析 ● BCM の対外向け戦略の工夫
課題	小論 (エッセイ)
評価基準：評価方法	危機に直面した時のコミュニケーションのあり方について。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 読書は思考と創造力のエネルギー源。哲学、心理学、歴史、科学、社会学など、少し自分には難しいのではと思えるレベルの本を探して貪欲に読もう。 ● BCM の参考資料：『事業継続ガイドライン第三版』（内閣府防災担当）を参照のこと。

認定 RC アドバイザー各講義の詳細 (8/10)

講座名	経営者・リーダーシップとコーポレートガバナンス
講師名	細窪 政
日時	2021年12月10日(金) 15:30-17:00
講師経歴 自己紹介	グレートアジアキャピタル&コンサルティング合同会社(GACC)代表社員 慶應義塾大学卒業。信託銀行を経て、日本アセアン投資(現日本アジア投資、東証1部)入社。2012年代表取締役社長に就任。2017年にGACCを設立。経営者向けコンサルティング事業を行ないながら、上場企業3社・未上場企業2社の社外取締役・社外監査役を務める。
科目のねらい・到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営者の考え方、リーダーシップ、コーポレートガバナンス等の知識を基礎として、経営者の関心事をより広範囲に知る。 ● 経営者とリスクコミュニケーターとの関係性を改善することが、より適切なRCの実現に繋がることを学ぶ。 ● 日頃から経営者と適切に意見交換ができ、経営者に信頼されるリスクコミュニケーターになることを目指す。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営者のタイプとその特徴 ● 経営者の関心事を理解することの重要性 ● 経営者にRCの重要性を理解してもらうには？ ● 経営者に信頼されるリスクコミュニケーターになるためには？ ● 事例研究等
課題	小論文
評価基準：評価方法	
その他	リスクコミュニケーターは経営者の代弁者である一方、黒子として経営者による適切なRCを支えるという大切な役割があります。従って、優れたリスクコミュニケーターになるためには、経営者の考え方をよく知り、また経営者に信頼され、日頃から重要な情報を共有される立場になることを目指さなければなりません。本講座がその切っ掛けになることを望みます。

認定 RC アドバイザー各講義の詳細 (9/10)

講座名	法務・法律/コンプライアンス (企業倫理)
講師名	小川 義龍
日時	2021 年 12 月 17 日 (金) 15:30 - 17:00
講師経歴 自己紹介	小川綜合法律事務所所長 弁護士 早稲田大学法学部卒業。日弁連代議員・東京弁護士会常議員、広報室嘱託、広報委員会・非弁護士取締役委員会各副委員長など歴任。 サイボウズ株式会社、トヨクモ株式会社各監査役。企業顧問として危機管理・コンプライアンス管理等を指導。
科目のねらい・到達 目標	・ RC における法的に見逃せないポイントを理解し、実践の際に活用できる基礎知識を習得する。RC を法務的に考えた場合には、リスクに対する想像力・予想とその予想を回避するための法的措置が重要であり、予防法務や法令・法制度のイメージを持てるようにしたい。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ RC と法務 (法的制度の把握とリスクへの想像力) ・ リスクの分類と適用法令 ・ リスクへの法的対策 ・ BCP の法務面と BCM
課題	選択問題 (10 問)
評価基準：評価方法	
その他	リスクが現実化したら法的にどうなるのか、裁判や倒産などリスクの辿り着くところをできるだけ平易にイメージをお伝えしようと思います。この裁判や倒産にならないようにするため、或いはなっても有利に進めるためにどのような準備をしたらいいのか、こういった RC について勉強して頂きたいと思います。実際に NDA などの契約書をサンプルにしながら契約書の読み方・注意点など予防法務・契約法務についても具体的に平易にお伝えします。

認定 RC アドバイザー各講義の詳細 (10/10)

講座名	総括
講師名	大杉 春子
日時	2021 年 12 月 24 日 (金) 15:30 - 17:00
講師経歴 自己紹介	レイザー 株式会社代表取締役 / 危機管理広報コーチング 2020 年日本リスクコミュニケーション協会代表理事就任。昨今の広報における危機管理のニーズをうけて、危機管理広報トレーニングプログラム「KIKI (キキ)」を企業に導入し、チームビルドとコーチングを行う。
科目のねらい・到達 目標	・ 認定 RC アドバイザーの全講座総括。 ・ 具体的に組織内、顧問先に RC に取り組みを行う際の知識とノウハウを習得する。
講座概要	<ul style="list-style-type: none"> ● リスクコミュニケーターのプロフェッショナルとしての心構え ● 組織の課題ヒアリングと抽出方法 ● WS の種類と構築方法 ● RC マニュアルの作成手順 ● 提供サービスの価格設定について ● 今、気をつけたいリスクのトレンド
課題	なし
評価基準：評価方法	
その他	RC への取り組みをはじめるとき、関係する部署や担当者を巻き込みチームビルドを行うことが一番パワーを要します。 実践で使えるノウハウを身につけていただけるよう講座はわかりやすく、WS を設けながら行いたいと思います。